

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【公開番号】特開2007-70362(P2007-70362A)

【公開日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-011

【出願番号】特願2006-298546(P2006-298546)

【国際特許分類】

C 07 C 201/12 (2006.01)

C 07 C 253/30 (2006.01)

C 07 C 255/41 (2006.01)

C 07 C 205/56 (2006.01)

【F I】

C 07 C 201/12

C 07 C 253/30

C 07 C 255/41

C 07 C 205/56

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月9日(2007.7.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

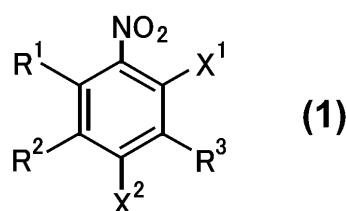
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無機酸が炭酸である金属無機酸塩の存在下、一般式(1)

【化1】



(式中、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>及びR<sup>3</sup>は、水素原子を示し、X<sup>1</sup>及びX<sup>2</sup>は、フッ素原子を示す。)で示される2,4-ジフルオロニトロベンゼンに、一般式(2)

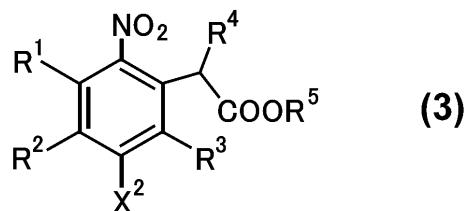
【化2】



(式中、R<sup>4</sup>は、アルコキシカルボニル基、アラルキルオキシカルボニル基又はアリールオキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>は、アルキル基、アラルキル基又はアリール基を示す。)で示されるマロン酸ジエステルを有機溶媒中で反応させることを特徴とする、一般式(3)

)

## 【化3】



(式中、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>及びX<sup>2</sup>は、前記と同義である。)

で示される2-(5-フルオロ-2-ニトロフェニル)マロン酸ジエステルの製造法。

## 【請求項2】

無機酸が炭酸である金属無機酸塩の金属原子が、アルカリ金属原子である、請求項1に記載の2-(5-フルオロ-2-ニトロフェニル)マロン酸ジエステルの製造法。

## 【請求項3】

無機酸が炭酸である金属無機酸塩が、炭酸ナトリウム又は炭酸カリウムである、請求項1又は2に記載の2-(5-フルオロ-2-ニトロフェニル)マロン酸ジエステルの製造法。

## 【請求項4】

マロン酸ジエステルの使用量が、2,4-ジフルオロニトロベンゼンに対して1.0～5.0倍モルである、請求項1～3のいずれか1項に記載の2-(5-フルオロ-2-ニトロフェニル)マロン酸ジエステルの製造法。

## 【請求項5】

無機酸が炭酸である金属無機酸塩の使用量が、2,4-ジフルオロニトロベンゼンに対して1.0～5.0倍モルである、請求項1～4のいずれか1項に記載の2-(5-フルオロ-2-ニトロフェニル)マロン酸ジエステルの製造法。

## 【請求項6】

有機溶媒が、アセトニトリル、N,N-ジメチルホルムアミド及びジメチルスルホキシドからなる群より選択される1種以上である、請求項1～5のいずれか1項に記載の2-(5-フルオロ-2-ニトロフェニル)マロン酸ジエステルの製造法。

## 【請求項7】

有機溶媒の使用量が、2,4-ジフルオロニトロベンゼンに対して1～50重量倍である、請求項1～6のいずれか1項に記載の2-(5-フルオロ-2-ニトロフェニル)マロン酸ジエステルの製造法。

## 【請求項8】

2,4-ジフルオロニトロベンゼンにマロン酸ジエステルを20～140にて反応させる、請求項1～7のいずれか1項に記載の2-(5-フルオロ-2-ニトロフェニル)マロン酸ジエステルの製造法。